

第 83 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録

I. 日 時: 2016 年 11 月 2 日 (水) 13 時 30 分～17 時 20 分

II. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室

III. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川 (NIMS)、吉田 (東電 FP)、木村 (NIMS)、妹尾 (関電)、
菊原 (MHPS 呉)、森 (新日鐵住金)、長谷川 (発電技検)、長谷川 (中部電力)

オブザーバー: なし

欠席: 俣野 (KHI)

事務局: 原

IV. 配付資料

83-1 第 82 回材料分科会議事録 (案)

83-2 材料分科会委員名簿

83-3 第 77 回火力専門委員会議事録 (案)

83-4 第 32 回材料専門委員会議事録 (案)

83-5 第 79 回発電用設備規格委員会議事録 (案)

83-6 SN材の規格化に関するデータ解析結果

83-7 「火 STPA28 系鋼の許容値等の見直し結果」に関する技術的妥当性の検討
依頼に対する回答

83-8 誤記対応方針 (案) について

83-9-1 表Ⅱ-3-1、表Ⅱ-3-2、表Ⅱ-3-3 (森委員)

83-9-2 表Ⅱ-1-1 (伊藤主査)

83-9-3 表Ⅱ-2-2 (長谷川(祐)委員)

83-9-4 表Ⅱ-1-2 (吉田幹事)

83-10 審議履歴表

83-11 JSME 火力設備規格の概要説明資料

83-12 用語集 (3 分科会共通)

V. 議 事

1. 前回議事録確認

【資料 83-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

〈修正箇所〉

・ 3P 5.(4)1) 材料現象 → 材料事象

・ 3P 5.(3)5) 資料 81-7-5 → 資料 82-7-5

2. 分科会委員・役員の承認

【資料 83-2】

退任委員、再任委員候補、新任委員候補なし。

3. 報告事項

(1)火力専門委員会報告 【資料 83-3】

8月24日開催の第77回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○第82回材料分科会報告

・発電用火力設備規格201X年版の審議状況報告

○審議結果報告

・材料専門委員会へのSN材の規格化に関するデータ解析結果の提供依頼

・火力関係規格の誤記対応方針(案)のご意見伺い

(2)材料専門委員会報告 【資料 83-4】

8月31日開催の第31回材料専門委員会の主要項目が報告された。

○高クロム鋼クリープデータ評価検討会における「火 STPA28 系鋼の許容値等
見直し結果」に関する技術的妥当性の評価結果について

○「改良 9Cr-1Mo 鋼伝熱管の新規規格化（案）に対するご意見伺い」の意見対応

○原子力専門委員会における SN 材の審議状況について

(3)発電用設備規格委員会(9/7開催)報告 【資料 83-5】

9月7日開催の第79回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会(8/24開催)の報告

○材料専門委員会(8/31開催)の報告

○火力関係規格の審議はなし。

4.審議事項

(1)「SN材の規格化に関するデータ解析結果」の受領と対応 【資料 83-6】

8月31日付で材料専門委員会から提供があった「SN材の規格化に関するデータ
解析結果」について、木村委員から説明があった。

○SN400BのS値は、整数に丸める場合は、元々の値が92.49であることから、
92とする。

○SN材のJISの年版をどうするかは、確認して連絡する。

11月3日に以下の内容が委員全員に連絡された。

課題：SN材のJIS規格の年版をどうするか？

回答：(2012)

根拠：電力中央研究所報告書の記載

記載内容：実験に供した材料はJIS規格[4]に定める建築用圧延鋼材（SN材）
である。

参考文献

[4] 日本工業規格, " 建築構造用圧延鋼材, " JIS G 3136:2012, (2012)

(2)「火 STPA28 系鋼の許容値等の見直し結果」に関する技術的妥当性の検討依頼に
対する回答案と対応 【資料 83-7】

材料専門委員会で書面投票（9/20～10/20）にかけられた回答案について、木村
委員から説明があった。

- 現在、新材料規格化分科会において意見対応のメール審議中であり、意見対応終了後に正式に回答がある見込みである。
- 本回答結果を、JIS 材、ASME 材、B31.1 材の許容応力表に反映することを確認した。
- 溶接継手低減強度係数も数値が見直されているものがあるので、回答内容を構造分科会へ連絡することとする。

(3) 誤記対応方針（案）について 【資料 83-8】

火力関係規格の誤記対応方針案について審議を行った。基本的に誤記対応方針案に賛成であるが、以下の意見があった。

- 3)の「旧版の使用は推奨しない等」の注意喚起を促す文章については、最新版がエンドースされるまでの期間は火技解釈を否定することになるので、良くないのではないか。
- 規格の改訂に当たっては、変更箇所一覧に記載の誤記修正に合わせて、改訂前の版についても正誤表を発行した方が、より親切な対応である。
- 変更箇所一覧の記載内容・記載方法のイメージが分かるようにした方がよい。
材料関係の場合、作成の仕方によっては新旧対比表のような膨大なものになってしまう可能性がある。

(4) 201X 年版改訂案の審議

1) 表Ⅱ-3-1、表Ⅱ-3-2、表Ⅱ-3-3 【資料 83-9-1】

森委員がコメントを反映した改訂案について説明し、審議を行った。

- 表Ⅱ-3-3 の備考について、番号のみが変わったものについては、変更の対象としないことを確認した。
- 表Ⅱ-3-3 備考(24)
・ガスケット継手のフランジ → ガスケットを使用したフランジ継手
- 表Ⅱ-3-2 備考
・SCB-2-14 → S CB1-2014

2) 表Ⅱ-1-1 【資料 83-9-2】

伊藤主査が材料専門委員会からの回答（SN 材、高クロム鋼）を反映した改訂案について説明し、審議を行った。

- SN 材 JIS G3136 建築構造用圧延鋼材の年版は、確認後記載する。
- SN400 の $S_y=215$ の 300°C については、元データは 92.49 のため、92 とする。（2箇所）
- J 火 SCMV28 の 550°C について、クリープ支配なので現状のまま（斜体）で良いことを確認した。

3) 表Ⅱ-2-2 【資料 83-9-3】

長谷川委員が、コメントを反映したレビュー票を説明し、審議を行った。

- 材料現象 → 材料事象 （前回議事録の記載が間違っていた。）

4) 表Ⅱ-1-2

【資料 83-9-3】

吉田幹事から、表Ⅱ-1-2 の備考について説明があり、審議を行った。

- 限り適用することができる。→ 使用することはできない。
- 材料現象 → 材料事象 （前回議事録の記載が間違っていた。）

5) 今後の改訂作業

次回の分科会までに、ダブルチェック結果の確認を行い、次々回までに提案資料を準備する。

改訂案ダブルチェック用のフォルダは事務局が準備する。具体的な進め方は、三役から別途連絡する。

(5) JSME 規格の紹介資料

【資料 83-11】

溶接分科会を中心に、規格の活用、使われる規格にするための対応を検討中である。これに関連して、JSME 規格の紹介資料(規格の概要、利用のイメージ・メリットなど)を準備中なので紹介資料の素案に対し、適宜、また次回分科会において意見をいただくこととした。

(6) 用語集について

【資料 83-12】

用語集は、他分科会を含めて統一したものをメンテナンスすることが望ましいので、今後、各分科会委員が見られるところにフォルダを設け、共通の用語集をメンテナンスしていくことを確認した。

ファイルの保存場所は、CS キャビネットの以下のフォルダ。

火力専門委員会/98_火力用語集(各分科会共通)

VI. 次回開催予定

日 時 : 2017 年 2 月 2 日 (木) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室